

小柳よしふみの 提言①

学校施設を多くの市民の幸せのために ～テニスや放題の街はすぐにできる～

学校は、子どもたちがたくさんのお話を学んだり、経験したりする大切な場所です。子ども、先生ファーストでなければいけない場所です。建物、体育館、プール、グラウンドが揃った公共施設は、大変貴重なものであります。現在、校庭開放や災害時の避難所などでも活用されていますが、もっと広く市民の幸せに貢献できる場所ではないかと考えています。市立の中小高支援学校は全部で169校あります。

例えば、多くの方が楽しまれ、コートが予約できないとの声が多いのがテニスです。市内中高校にテニスコートは、約150面あります。これらのほとんどは、朝夕の部活動などの時間以外は空いています。各学校によって事情は様々ですが、その時間を市民に開放するだけで、市民のプレー環境が各段に良くなります。しかも、ほとんどお金をかけることなく、仕組みさえ作ればすぐに実現できます。もちろん、セキュリティや利用マナーなどの課題はありますが、解決できないことはありません。私自身が関わらせていただきましたが、実際に一部高校においては、すでに一般開放を行っています。テニスを例に挙げましたが、他にも応用ができるはず。もっと市民の幸せに貢献できる学校施設の活用の仕方を検討するべきと考えています。

小柳よしふみの地域活動



調公園時計の修繕



横断歩道等環境道路整備



地域の運動会



夏は祭りだ！



防災アドバイザー活動



ごみゼロ運動で
環境美化に参加



ラグビーW杯100日前イベント



浦和うなぎまつり

ご意見・ご要望をお聞かせください

お名前 _____ TEL _____
ご住所 _____

ご来場をお待ちしております！

第33回 市政報告会

クイーンズ伊勢丹 3階

日時: 令和元年 8月25日(日)
18:30～19:45

入場
無料

会場: 北浦和カルタスホール
第1会議室 北浦和1-7-1

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ 事務所

E-mail info@koyanagi.jp
ホームページ http://koyanagi.jp/
ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/
〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F
TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233



小柳よしふみ

小柳よしふみ 検索
市政レポート
2019.8 vol.36

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

浦和っ子

令和の時代に さいたま市がさらに輝く！

～最高の日常を今も将来も楽しめるように～

大変暑い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

今年は雨が多く、特に九州地方の大雨が大変な被害となっております。犠牲になった方々のご冥福をお祈りするとともに、1日も早い日常の回復に向けた対応が急務と考えます。一方で自然災害は、起こってからではできないことには限界があります。事前の対策がすべてと言っても過言ではありません。小柳よしふみは、災害対策や地域での防災活動に、しっかり取り組んでいきます。

さて、令和の時代に入り、初めての定例会が開催されました。小柳よしふみは、予算委員会、まちづくり委員会、大都市行財政将来ビジョン特別委員会の所属となります。予算委員会では、委員長に就任いたしました。総予算1兆円を超えたさいたま市の予算について、有益な議論となるよう責任を果たすべく、務めてまいります。まちづくり委員会においては、今住みやすい街であること、さらに将来次世代に魅力的な街をどのように残していくのかについて、考えていきます。また、スポーツ振興議員連盟も発足し、小柳よしふみは事務局長となりました。スポーツ振興やスポーツを通じた地域活性化を図り、スポーツの街さいたま市の発展に尽くしてまいります。最高の日常を楽しめるさいたま市であるよう、議会でも地域においても、小柳よしふみの活動にぜひご注目くださいますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、まだまだ暑い時期は続きます。皆さまにおかれましては、どうかご自愛いただきますよう、お祈り申し上げます。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年(2期目)、平成31年(3期目)浦和区にて当選。
- 予算委員会(委員長) まちづくり委員会/議会運営委員会 大都市行財政将来ビジョン特別委員会



議会ごとに市政レポート発行(vol.36)、市政報告会開催(32回) 継続中！

TOPICS

参議院議員選挙の投票率は48.11%

7月21日投開票の参議院議員選挙、さいたま市の投票率は48.11%となり、前回より5.44ポイント低下した。4月には統一地方選挙もあったが、今年は選挙Year。8月25日投開票で埼玉県知事選挙、秋には参議院補欠選挙が予定されている。投票によって、想いを行動で表す絶好の機会である。



高砂小学校校舎増設工事は、 今秋から

児童数の増加に伴い教室不足が問題となっていたが、校舎の増設工事が今年度行われる。まもなく門の改修など付帯工事が夏休み期間などを利用して順次進められ、本体工事は秋ごろ着工予定。供用開始は、来年4月となる。



公園遊具の一部使用禁止

国の安全基準が変更になったことに伴い、鉄棒などの公園遊具776基が使用禁止になる。現在、使用禁止のテープなどが貼られている。3年間で順次改修工事を行う予定(中面記事参照)。



市営樹林型合葬式墓地の 公募が始まる

さいたま市初の公営樹林型合葬式墓地完成し、9月頃から公募を開始する。墓地需要への対応、ニーズの多様化に対応し、見沼区の思いの里市営霊園内に整備される(詳細中面)。



令和元年度 6月定例会の報告



予算委員会審査から

小柳よしふみは、本年度より予算委員会委員長を務めます。当初予算額1兆円を超えたさいたま市の予算の使い道についてしっかり検討し、建設的な提案も併せて議論してまいります。6月定例会では補正予算議案が可決されました。

〈補正予算の特徴〉

- 指定避難所となる市立高校4校の体育館の空調機器設置のための設計業務の実施
近年の夏の暑さは過酷で、避難所としても活用される体育館は、運動などを行うにあたって、また避難生活を送るのにも、暑すぎる状況にある。本市では普通教室のエアコン設置は100%実施済となっているが、専門科目の教室では一部未整備であり、こちらも対策が急がれる(1,024万5千円)。
- 小学校4校、中学校2校のトイレ改修(洋式化)工事に向けた設計業務
学校トイレの洋式化については、早期の対応が求められている。昨年度現在の洋式化率は、59.5%。令和2年度末までに70.6%を目標に整備を進めている(3,475万3千円)。
- いじめ防止対策としてのスクールロイヤー(弁護士)を活用した学校支援
子ども同士のいじめや保護者の不当な要求など、学校が直面する問題に弁護士が法的な観点から学校に助言、児童や教職員向けの研修会を行う。子どもたちの健全な学校環境のための有効活用を期待する(270万)。
- さいたま新都心長距離バスターミナル維持管理事業
東京オリンピック・パラリンピックを見据えた暫定整備が行われている長距離バスターミナルの供用開始は、令和2年6月(バス駐車場は本年10月)。五輪後に、本格整備となる(470万円)。

* その他、老人福祉センター「東楽園」整備に向けた設計業務や昭和37年～昭和54年生まれ男性に対する風疹の抗体検査と予防接種などの補正予算を内容としている。



議案審査から

新見沼大橋有料道路の無料化を求める!

Q 新見沼大橋有料道路の無料化を求める声がある。無料化はいつになるのか?



A 現在の事業計画では、令和8年11月27日までの料金徴収の期間が満了し、無料化になると認識している。現在ある約76億円の未償還分が残るが、この点については今後県との協議になる。

小柳の視点 小柳の質疑で令和8年に無料化するという方向性は明確になった。昨年度料金収入が3億7,700万円という状況のために多額の未償還分が残る。ただ、迂回車両による近隣への影響や無料化した際の経済効果、機械化による料金徴収費用の削減等も考慮して進めるべき。



樹林型合葬式墓地が完成!

「自然にかえりたい」というニーズや「継承や管理の不安」といった墓地に関する市民意識の変化、墓地需要への対応のため、本市初の公営樹林型合葬式墓地が整備された。一般公募10,000体を今後20年間、毎年500体募集予定。市営墓地の返還(墓じまい)などへの対応6,000体を含め16,000体に対応する。一般公募は令和2年3月ごろ、市営墓地返還用は令和元年9月ごろから随時募集となる。詳しくは、思い出の里市営霊園事務所まで。

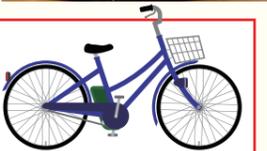
まちづくり委員会から

1. 免許返納者等に対する電動アシスト自転車購入補助等支援制度を求める。

- Q 免許返納者が返納後の移動に困らないような補助制度や返納意欲を高める施策が必要と考える。電動アシスト自転車の購入への補助制度など検討できないか?
- A 2輪の電動アシスト自転車は、車の年間維持費を考慮すると購入しやすい金額。自動車から二輪車への乗り換えに不安を持つという意見も伺っており、3輪の電動アシスト自転車購入支援等については、検討していきたい。



小柳の視点 高齢者の事故の報道が続く中、免許返納についての議論が高まっている。移動手段の確保は重要であり、将来的な財源の確保も念頭に置いた施策が必要である。また、安全運転講習なども併せて行くと、より有益なものになると考える。



2. 公園の維持管理費の維持拡充を求める

- Q 公園の新設整備を進める中、その維持管理の経費も増加傾向にある。快適な公園環境維持の予算確保についてどう考えているのか? また、公園の維持管理を専門に行う部署の設置も検討すべきではないか? 現状と今後について見解を問う。
- A 公園の新設、改修費用の増加等により、今後は格段に予算が必要となる見込み。整備費用の単価の縮小や修繕の先送り、遊具・トイレなどの減少でやりくりをしている。必要な予算の確保、歳出の縮減、民間の活用などが課題。また、ほとんどの政令市同様に、専門の組織を検討すべきと考えており、総務系の局と調整していきたい。



小柳の視点 市民サービスに支障をきたしている現状がある。遊具の安全基準の変更、天災などへの対応や、快適な公園の環境を維持していくためには、専門の担当部署の設置や財源の裏付けがある計画的な維持管理が必須である。大規模開発の際に、かつて徴収していた例がある、地域協力金等による財源確保も検討の余地があると考え。Park-PFI等による民間の活用も要検討。

3. さいたま市の景観政策について

- Q 景観の価値、さいたま市美しいまちづくり景観条例の制定後10年の成果についての認識を問う。
- A 一定以上の規模の建物について届け出審査をして、景観誘導を図ってきている。1件ずつの審査の積み重ねを行っているが、町並みや連続性といったものを解決するにあたっては課題が残る。面的な形で景観を誘導する景観地区制度の取り組みを進めていきたい。

小柳の視点 景観や街並みというのは住み心地にも関係する大切なものであり、行政だけではなく市民の理解や協力があってこそ成り立つ。そのためには、共有できるビジョンが必要ではないかと考える。

4. 浦和のまちづくりビジョン策定について

- Q 現在策定されていない浦和のまちづくりの将来ビジョン策定によって、まちづくりの施策を積極的に行う拠り所となると考える。執行部の見解と進捗状況を問う。
- A 本市の都心地区である浦和駅周辺地区が今後も魅力的であり続けるためにも、浦和のまちの将来ビジョンはぜひとも必要と考えている。まちづくりに終わりはなく、継続的に次の世代に引き継いでいくためにも、ビジョンを策定して継承していく事が大切。現在、浦和のまちの現況など基礎調査を行ったところで、今後のより具体的な検討につなげていく。

小柳の視点 行政のお仕着せのものではなく、市民の関心や議論を盛り上げることが重要であり、市民への働きかけも必要になってくる。まちの現状についての基礎調査は、その議論のためにも役立つものであり、有益と考える。